



夏のバス停と  
汗だくJK  
姫海棠はたて

七天  
罰討

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

会場限定







「へえ、キミもこのバス乗って帰るんだー家も近いのかな？」  
（…暑い上に暇でしようがない待ち時間、ちようどいい話し相手ゲット♡♡しかもこの男の子結構かわいいカモ♡♡）

話をしているうちに男の子も警戒が解けたのか、少しずつこっちを見て話をするようになった。

（それにしても…さっきからこの子胸ぼつかチラチラ見てるな。これくらいの子でも暑さのせいかな…ちよつと変な気持ちに…なつてきたかも♡まだバス来るまで時間あるしちよつとからかっちなやおうかな♡）



「ていうかさっきから人のおっぱいばっか見てるよねー。好きなんだ？」  
「えっ！見つけてないよっ！」「ヤバ！ウケる全然誤魔化せてないしかわいー♡あーもういじめたくなっちなー♡」  
（えー好きじゃないんだー！そんなにあげようかなーっと思っただけに♡）

男の子は照れてるのが押し黙ってしまったが、視線を股間に落とすとシヨトパンツに一生懸命テントを張り先っぽには我慢汁が滲んでいた。

（うわ♡すご…。この歳でもちやんと勃起するんだー♡このままじゃかわいそうだよねー…JKのお姉さんとして責任取ってあげなきゃ♡）





「つーかコレ…ズボン張っちゃって  
苦しいっしょ。おろしなよっ♡」  
「わっ!だめっ!」  
ズボンを下ろすとぶるんっ♡とゴンゴンの  
子供ちゃんぽが飛び出した。



「流石にサイズは小さいけどじっかり  
ちゃんぽの形してるんだっ♡うう…臭いも…♡  
ヤバムラムラしてきちゃうっ♡  
うう…どうしよ…俺のちんこ  
変な形になっちゃった…」  
「あ…そっか…まだ勃起の事もよくわかって  
ないんだ。これはね、おちんちんの  
大事な機能なんだよ♡勃起♡言っところらん?」  
「え…ぼつき…?」

「小ぶりの勃起ちんちんの皮を口の中で  
剥いてあげるとしよっばい味が広がり  
ちんぽの臭いが鼻を抜ける。  
お姉ちゃん…っ何これっ!  
きもちいいっ♡先っぽ気持ちいいよお♡  
んちゅ♡どうっ先っぽ敏感だから気持ち  
いいでしょ?これがフェラだよ♡」



「あうっ♡お姉ちゃんだめっ♡  
吸っちやだめっ♡なんか来るっ♡  
おしっこ出ちゃうよっ♡  
んん…? れろっ…ちゅぼっ♡  
いいよ…お姉ちゃんこのまま続けるから  
そのままだしてみなっ?  
おしっことは違う気持ちいーのが出るから」  
ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡  
「なにこれっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡  
びゅっ♡びゅっ♡びゅっ♡びゅっ♡びゅっ♡びゅっ♡」





「初めてなのにいっぱいびゅっびゅっ出て偉かたねえの？大丈夫？」  
 「それ息できんの？お姉ちゃんのお姉ちゃんにおい全部来るっ♡お姉ちゃん♡お姉ちゃん♡」  
 「っ！かまた射精しちゃってるんですけど…でもやっぱ…ここまで来たらもうヤっちゃいたい…でもこの子もうガクガクだし…バスも来ちゃうか…」  
 「ね、キミ明日もここ来る？明日さもっ」と  
 「…！うん！明日も来る！絶対来る！」  
 「…♡約束だかんね♡ほら自分で起きて！ちゅっ♡そろそろバスきちゃうからっ」

ギュピ…♡何やらねっちよりサウンドが聴こえると思っ覗いてみれば生徒の姫海棠ではないか…♡録画開始！！クソ生意気な態度でけしからん娘ではあったが初等部の生徒相手にこんな事をしておったとは…（ギンッギン！）  
 到底許せぬ！！明日も来ると言っていたな…？天狗社会は縦社会わしのマラは我慢の限界生殖者として徹底的に教育してやらねば…  
 （ビュビュッ！バビュビュッ！）





翌日…

「はー！今日もマジ暑ー！  
それにしても昨日は良かったなあ…♡  
あの子きつと今日も来るよね♡  
ヤバ、想像しただけでちよつと…♡」  
ガタッ…

「きたっ!?!」

「ウホ♡やはりおったか♡姫海棠オイ!

貴様あゝ…何だ昨日のは! コラ!

先生見てたんだぞオイ!

(は!? コイツ変態中年国語教師の大山じゃん!  
なんでこんなところに!)



メスガキ…



「はあゝ? 昨日のって何ですか?  
全然意味わかんないんですけどー!」  
「しらを切っても無意味♡  
昨日初等部の生徒に貴様が  
していた事は全部この  
河童フォンでムービー撮って  
あるからな! おい何だその態度は!  
教師だぞ! これだから最近のメスガキは!  
ぐ…嘘…他に誰も居ないと思っただのに…  
な、何ですか…生徒を脅そうっていうワケ…?」



むわあ…

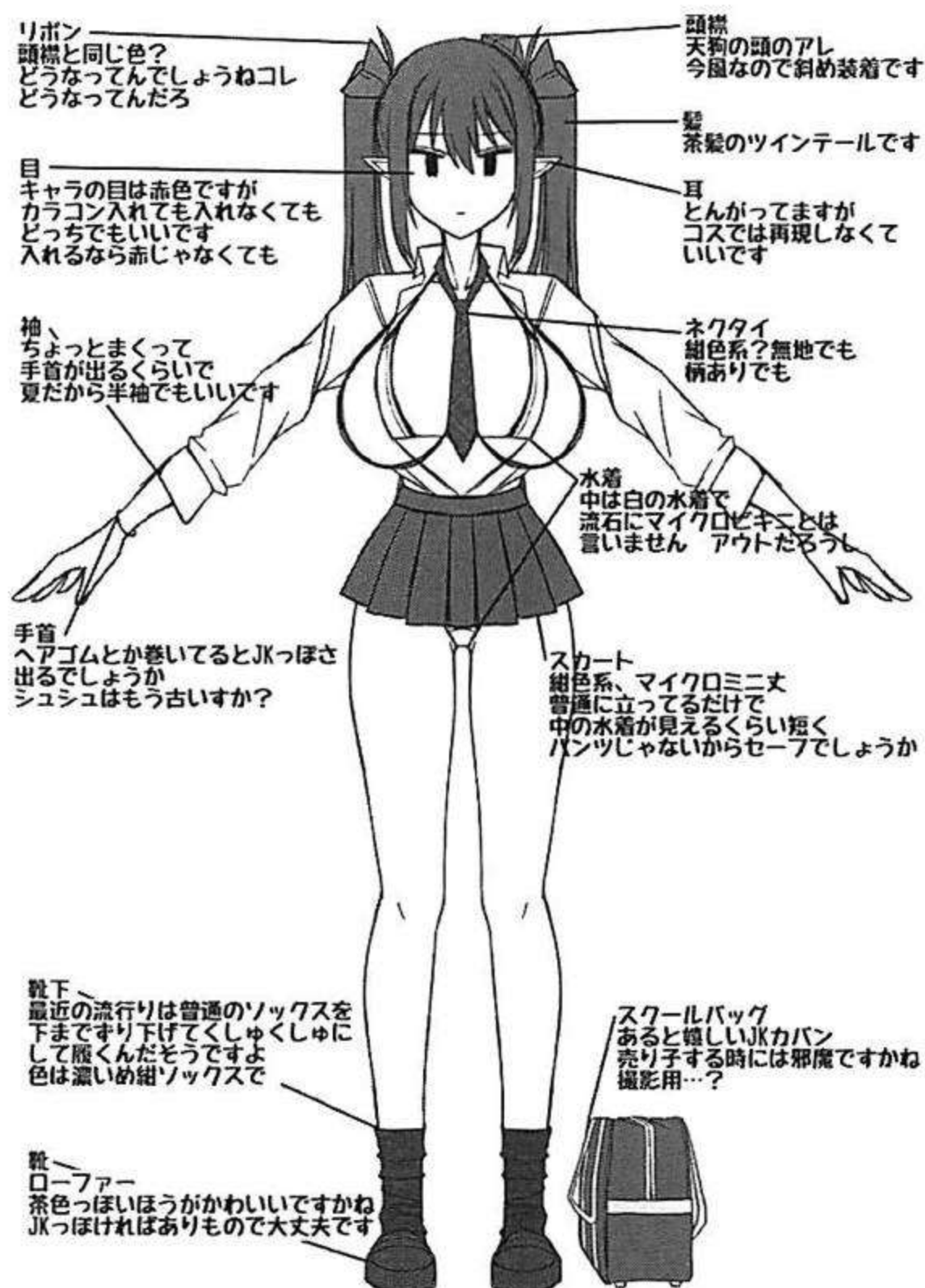
はあ  
すん  
すん  
すん  
すん  
はあ

「先生はな、怒ってるわけじゃないんだ♡  
ただ貴様らガキの天狗が間違った行為を  
しないかそれが心配で…これは教育的  
指導だ今からたづぷりとそのスヶべ肉体  
にわからせてやるからなポケ!」  
(うそ…何コレヤバ…あの子のとは  
比べものにならない…これが本物の  
天狗の勃起ちゃんぽ…)  
「うっ♡」  
(臭っ♡これ…くっさあ♡汗で蒸れた  
中年ちゃんぽ臭ヤバすぎ…♡)  
「期待してんじゃねーよポケ♡ちゃんぽの  
臭い嗅いで即メススイッチオンか?  
図々しいにも程があるだろ!  
マゾメスリクここに現るってとこだな」









## あとがき

この度は当サークルの作品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
毎度おなじみ徹夜明け HP残り1の状態のむすかでございます。  
なんとなく2017年10月の秋例大祭会場限定で出してみたJKはたてコピ本。  
いつの間にかシリーズ化して今作で第5作目となりました。いつも表紙入れて4Pだけど  
今回は頑張りました。とりあえず今作でこのシリーズは一区切りしようと思っております。  
今年のイベント参加予定は夏コミに申し込んでいます。受かったらこのはたてコピ本の  
総集編を出そうと思っております。修正ページ・描き下ろしマシマシで。  
もし落ちたらもう1作くらい描いて総集編は冬に持ち越しですかね。  
ではまた。

### ■奥付

「夏のバス停と汗だくJK姫海棠はたて」

- 発行日:2019年5月5日
- 発行者:七天罰討/むすか
- 連絡先:circle.7ten8tou@gmail.com
- Twitter@muska\_

- ・十八歳未満の方の閲覧・所持を禁止いたします
- ・無断転載・複製を一切禁止いたします